



## 審議された主な議案

※採決結果は本会議の結果を掲載しています。  
議長は表決を行いません。  
(議第20号のみ特別多数議決のため議長表決あり)

令和2年1月24日に臨時会を開き、一般議案1件が市長から提出されました。  
令和2年3月3日から3月27日まで3月定例会を開き、条例案等の議案34件が市長から提出されました。なお、議員からは意見書1件および一般議案1件が提出されました。

# 令和2年度当初予算案が可決されました。

一般会計	特別会計	合計
<b>535億7,000万円</b>	<b>337億9,190万円</b>	<b>873億6,190万円</b>
(対前年1.8%増)	(対前年0.8%減)	(対前年0.8%増)

令和2年度当初予算は、一般会計が過去2番目に大きく、特別会計を合わせた全会計でも過去2番目に大きい規模となりました。限られた財源を戦略的に配分するため、市民との協働のまちづくりを基本に、「防災・安全のまちづくりの推進」「教育の充実」「子育て支援の充実」「高齢者福祉の充実」「スポーツ健康づくりの推進」の5つの重点施策と「総合計画のリーディング・プロジェクト①」を推進していくものです。特に、「健幸都市」づくりの推進をリーディング・プロジェクトに掲げ、市民が生きがいを持ち、住む人も訪れる人も健やかで幸せになれるよう、従来の健康施策の枠組みを超えて、市の総合政策として健幸都市の実現に向けた環境・仕組みづくりを進めるための予算措置がなされています。議会では予算審査特別委員会において、これらの予算案の審査を行いました。

## 予算審査における質疑応答／意見《予算審査特別委員会》

**議員** 町内会へ支払う行政事務委託料は世帯数×単価から算出するものであり、算出根拠となる世帯数の正確性と透明性の確保が重要であるが、市の考え方を伺う。

**市** 世帯数は、町内会長からの報告により把握している。一部の町内会を除いて、ほとんどの町内会が総会を実施しており、令和元年度から、報告書に、町内会の総会の決算資料等、世帯数の根拠となる資料の添付を求めている。この報告世帯数と添付資料に記載する世帯数との整合性を確認しているほか、世帯数をオープンデータ②として公開しており、透明性の確保に努めている。

**議員** オープンデータとして公開された令和元年度の世帯数と、数年前の世帯数を見比べてみると、世帯数に乖離のある町内会がある。行政事務委託料の支払いが過大と見られる事例や、一方で、世帯数の過小報告の場合も見

受けられ、緩慢な管理がなされていたと言わざるを得ない。世帯数の算出根拠や、支払い目的が明確な行政事務委託料においては、しっかりとした数のチェック機能が必要である。総会を実施していない町内会からは、根拠資料となる総会の決算資料等の提出はできないと思われるが、根拠が示されないものに行政事務委託料の支払いを行うことには問題がある。どのように対応するのか。

**市** 決算資料等の明確な根拠資料がない町内会への対応については、それに代わる違う方法で世帯数の把握に努めていきたい。

**議員** 町内会の事務は忙しいことから、資料作成のミスをすることもあり得る。市、町内会が互いに世帯数をきちんと把握できるチェック機能を持つことが重要である。

**市** 市民の皆様にご心配を抱かれないように、慎重、丁寧に対応していきたい。

## 【事業】小1学びの基礎育成事業費 96万6千円

（概要）市内小学校の1年生において、学習の基本となる「ひらがなの読み書き」につまずいている児童が一定数存在しています。そのため、1年生の早期から、個々の児童の状況に合わせて、多層指導モデル（MIM）による効果的な指導・支援を継続的に行い、「読みの力」の向上を目指すとともに、定期的なアセスメントによって、学習につまずく児童の早期発見・対応を図ります。令和2年度は、実施校を新たに4校増やし、市内8小学校で実施するものです。

### 予算審査における質疑応答／意見《予算審査特別委員会》

**議員** 定期的なアセスメント③とは具体的にどのようなことを行うのか。

**市** 1年生の5月の段階に市内一斉に同じ内容の小テストを行い、その結果を分析したうえで、つまずいている児童の個別指導をしていくという指導パッケージである。

**議員** これまでも、教師2名体制で授業にあたりながら、各児童の読み書きの力の把握はできているのではないかと。なぜ敢えてこの事業を行うのか。

**市** これまでの体制においても、教師の丁寧な指導の中で、各児童の読み書き力の把握をしているが、一斉に同じ内容のテストを行うことで、つまずきの見落としがないように、また、できるだけ早期に発見することで、少しでもつ

まずく児童を減らしていこうとする意図がある。

**議員** 1年生の5月で実施という点について、4月生まれと3月生まれの成長には月齢差がある中で、小学1年生は一斉の同じ内容のテストで比べることはできないのではないかと。安易にこの指導パッケージに頼るのではなく、教師による児童の観察での把握を大切にしていくことが必要ではないかと。

**市** この事業を導入したからといって教師の児童の観察がなくなるわけではない。今後も継続して児童の様子を観察していき、成長を見届けていく中で、現場の意見も聞きながら、この指導パッケージを有効活用できるように進めていきたい。

### 予算審査における質疑応答／意見《予算審査特別委員会》

**議員** 平成30年度決算審査での道路パトロール事業に対する議会からの評価に対し、市は、令和2年度当初予算への反映状況について、「道路パトロール業務によって道路補修箇所の早期発見、早期補修に努めていくとともに、今後、アプリやAI④といった先進技術の情報収集に努め、費用対効果を精査し、継続して導入の検討を図る」と回答している。令和2年度予算は平成30年度決算額の約1.8倍の3,100万円に増額しているが、この増額の要因は。

**市** 令和元年度まで、道路パトロールは2班体制で行っていたが、2班体制では、道路の簡易修復に追われ、実際にパトロールができていないのではないかとといった指摘があった。そのた

め、令和2年度は、パトロールに特化した班を増やし、3班体制にすることで、道路整備不良による事故を1件でも減らしていけるように未然防止に取り組んでいきたい。

**議員** この3,100万円の予算の中にアプリやAIといった先進技術の導入に関する予算は含まれていないのか。また、導入時期の見通しはあるのか。

**市** アプリやAIといった先進技術の導入費は含まれていない。導入時期は決まっていないが、検討していく。

**議員** 3班体制による事故未然防止の効果に期待する。





## 【議第17号】草津市長寿祝金条例の一部改正

**（議案概要）** これまで、9月の敬老月間に、77歳、88歳、99歳、100歳以上の対象者に1万円の長寿祝金を贈っていましたが、全国の平均寿命は80歳を超え、健康寿命のさらなる延伸など、長寿に対する意識が変化してきていることから、長寿祝金の対象者のうち77歳の者を支給対象外とする等の改正を行うものです。

### 審査における質疑応答／意見 《文教厚生常任委員会》

**議員** 今回の改正は高齢者の楽しみを奪うのではないかと危惧する。いつまでも生き生きと、高齢者が長生きしてよかったと思えるような事業展開が必要だが、どのように考えているか。

**市** 楽しみにしていた77歳の対象者は多いと認識している。今回、祝金の支給対象外とはなるが、その他、高齢者対象の健康寿命の延伸に関する事業に力を入れていきたい。

**議員** 例えばどのような事業を行っていくのか。

**市** 健幸都市の取り組みとして、健康遊具の設置や認知症対策事業、[フレイル](#)対策事業等を展開していく。

**議員** 支給対象外となる方への周知はどのように行うのか。個別周知はするのか。

**市** 市HPや広報くさつ、市内高齢者施設での周知を考えている。個別には、問い合わせがあった場合に説明対応する。

**議員** 今改正により支給対象外となる方々に対して十分な周知期間を設け、問い合わせがあれば丁寧に説明するよう心掛けるとともに、高齢化が進んでいる本市において、誰もが安心して暮らせる施策の充実に向けて今後も取り組んでいかれたい。

## 議案審議結果

(注) 表示について、賛成の場合は「○」、賛成でない場合は「×」、欠席の場合は「欠」、棄権の場合は「一」、除斥の対象となる場合は「除」としています。議長は表決を行わないため、「/」と表示しています。  
 (注) 議員は会派ごとに五十音順で記載しています。  
 (注) 議第20号のみ特別多数議決のため議長も表決に参加しています。

1月臨時会に付された案件			議決結果	草 政 会													市民派クラブ		公明党	日本共産党草津市会議員団	チャレンジくさつ						
				井上 薫	伊吹 達郎	遠藤 覚	小野 元嗣	川瀬 善行	瀬川 裕海	田中 香治	永井 信雄	中嶋 昭雄	中島 美徳	西田 剛	服部利比郎	山元 宏和	横江 政則	栗津由紀夫	奥村 恭弘	杉江 昇	土肥 浩資	西垣 和美	西村 隆行	西川 仁	藤井三恵子	石本恵津子	八木 良人
市長提案	一般	議第1号 契約の締結 志津まちづくりセンター整備工事(建築) 契約金額 2億4,018万5千円 相手方 株式会社奥村工務店	原案可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会に付された案件			議決結果	草 政 会													市民派クラブ		公明党	日本共産党草津市会議員団	チャレンジくさつ						
				井上 薫	伊吹 達郎	遠藤 覚	小野 元嗣	川瀬 善行	瀬川 裕海	田中 香治	永井 信雄	中嶋 昭雄	中島 美徳	西田 剛	服部利比郎	山元 宏和	横江 政則	栗津由紀夫	奥村 恭弘	杉江 昇	土肥 浩資	西垣 和美	西村 隆行	西川 仁	藤井三恵子	石本恵津子	八木 良人
市長提出議案	予算	議第2号 令和2年度草津市一般会計予算 予算額 535億7,000万円	原案可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	算	議第3号 令和2年度草津市国民健康保険事業特別会計予算 予算額 118億7,330万円	原案可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○